

家 庭

家庭の目標について

【教科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

教科の目標については、今回の改訂の基本方針を踏まえ、育成を目指す資質・能力を三つの柱により明確にし、全体に関わる目標を柱書として示すとともに、(1)として「知識及び技能」を、(2)として「思考力、判断力、表現力等」を、(3)として「学びに向かう力、人間性等」の目標を示すこととした。

また、(1)から(3)までに示す資質・能力の育成を目指すに当たり、質の高い深い学びを実現するために、家庭科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（見方・考え方）を働かせることについて示すこととした。

なお、学年の目標については、これまで第5学年と第6学年をまとめて、家庭科で育成する資質・能力について三つの側面（家庭生活への関心、知識及び技能の習得と活用、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度）から具体的に示していたが、今回の改訂では、これらを整理し、教科の目標としてまとめて示すこととした。

○ 標準授業時数

第5学年－60単位時間      第6学年－55単位時間

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第5, 6学年	家庭501	新しい家庭5・6
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家族・家庭生活」については、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くよう、第5学年において自分にできる仕事を見つけたり、団らんを持つ計画を立てたりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、地域の人々と心のつながりを深めるために工夫できることを考えたりする活動。</li> <li>・「B衣食住の生活」については、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養うよう、第5学年において「青菜のおひたし・ゆでいも」や「ご飯とみそ汁」を作ったり、「マイ・ミニバッグ」や「エプロン」を製作したりする活動や、第6学年において家族が喜ぶ一食分の献立を考えたり、「トートバッグ」を製作したりする活動。</li> <li>・「C消費生活・環境」については、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養うよう、第5学年において目的に合った選び方や買い方を考えたり、環境や資源に配慮した生活を工夫したりする活動や、第6学年において目的や品質を考えた適切な買い方を考える活動。</li> </ul> <p>○ 「家族・家庭生活の課題と実践」については、日常生活の中から問題を見いだし課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できるよう、家族のために小物入れを作ったり、年末そうじの計画を立てたりするなど、学んできたことを生かすための具体的な活動例が取り上げられている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「ひと針に心をこめて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、手ぬいで学習したことを生かして生活をよりよくする様々な方法を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確にして分かりやすく説明・発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、児童が達成感や実践する喜びを味わうことができるよう学習内容を27の大題材（45の小題材）で構成し、「自分にできそうな家庭の仕事を見つけよう」や「手ぬいのよさを生活に生かそう」などの基礎的な学習をした後に、「1食分の献立を立てて、調理しよう」や「計画を立てて、工夫して作ろう」など基礎的・基本的な知識及び技能を応用的な教材で活用するなど、2年間を通して、系統的・発展的に学習することができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「A家族・家庭生活」は28ページ、「B衣食住の生活」は95ページ、「C消費生活・環境」は8ページ、「A家族・家庭生活及びB衣食住の生活」は5ページ、「B衣食住の生活及びC消費生活・環境」は9ページあり、「その他」はなく、総ページ数は145ページで、前回より約12%増となっている。（判型はA4判）</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 「環境」「日本の伝統」「日々の備え」などのマークや「資料」「プロに聞く」などのコラム欄を掲載することによって興味・関心をもたせたり、ワークシートを掲載し学習活動を促したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「いつも確かめよう」として写真や挿絵でまとめて掲載し、必要に応じて調べさせたり、「生活を変えるチャンス！」を示すことで、児童の生活の中から課題を見付けられるよう促し、家庭学習へとつなげたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、大題材ごとに「学習の流れ」を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

番号  観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	9・開隆堂	第5, 6学年	家庭502	わたしたちの家庭科5・6
内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家族・家庭生活」については、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くよう、第5学年において自分にできる仕事を見つけたり、家族の一員として仕事の仕方を考えたりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、地域の人々との関わりを見つめ地域の一員としてできることを考えたりする活動。</li> <li>・「B衣食住の生活」については、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養うよう、第5学年において「青菜のおひたし・ゆでいも」や「ご飯とみそ汁」を作ったり、「カード入れ」や「ランチョンマット」を製作したりする活動や、第6学年において栄養のバランスのよい一食分の献立を考えたり、「マイバッグ」を製作したりする活動。</li> <li>・「C消費生活・環境」については、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養うよう、第5学年において計画的な買い物の仕方を考えたり、目的に合った物の選び方や買い方を工夫したりする活動や、第6学年において環境に配慮した生活について考える活動。</li> </ul> </li> <li>○ 「家族・家庭生活の課題と実践」については、日常生活の中から問題を見いだし課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できるよう、家族のために昼食を作ったり、布を使ってプレゼントを製作したりするなど、学んできたことを生かすための具体的な活動例が取り上げられている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「ソーイングはじめの一步」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、手ぬいの知識や技能を自分の生活への工夫に生かす様々な方法を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確にして分かりやすく説明・発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、児童が達成感や実践する喜びを味わうことができるよう学習内容を22の大題材（59の小題材）で構成し、「生活を支える家庭の仕事」や「手ぬいを生活に生かそう」などの基礎的な学習をした後に、「1食分のこんだてを立てよう」や「目的に合ったふくろを作ろう」など基礎的・基本的な知識及び技能を応用的な教材で活用するなど、2年間を通して、系統的・発展的に学習することができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については、「A家族・家庭生活」は25ページ、「B衣食住の生活」は42ページ、「C消費生活・環境」は8ページ、「A家族・家庭生活及びC消費生活・環境」は4ページ、「B衣食住の生活及びC消費生活・環境」は46ページ、「その他」は12ページあり、総ページ数は137ページで、前回より約20%増となっている。（判型はA B判）</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>			

### 様式 3

#### ◎ 調査項目

- ① 3つの内容「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費生活・環境」の大題材・小題材の数及びページ数
- ② 実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数
- ③ 環境、消費、防災、日本の伝統などの資料の箇所数
- ④ 発展的な学習内容を取り上げているページ数
- ⑤ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数
- ⑥ URL・QRコードを掲載している箇所数

#### ◎ 調査項目にした理由

- ① 児童が3つの内容「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費生活・環境」をバランスよく学習することが求められていることから、全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 実習・実験に当たっては、事故防止の指導を徹底し、安全と衛生に十分留意することが求められていることから、安全・衛生への配慮について把握する必要があるため。
- ③ 自立した消費者を育成することが求められていることから、消費生活や環境に配慮した生活の仕方に関する内容の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ④ 児童の系統的な学習に資するよう、教科書上において「発展的な学習内容」であることを可能な範囲で明示することが求められていることから、発展的な学習内容の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ⑤ 児童の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある内容の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ⑥ 学習上の参考に供するために必要な情報の適切な取扱いが求められていることから、児童の主体的な学習につながるURL・QRコードの掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者	東書	開隆堂
① 3つの内容の大題材・小題材の数及びページ数 (※1)	A 家族・家庭生活	ページ数	28	25
		大題材数	12	6
		小題材数	11	11
	B 衣食住の生活	ページ数	95	42
		大題材数	11	5
		小題材数	27	15
	C 消費生活・環境	ページ数	8	8
		大題材数	1	2
		小題材数	3	6
	A 家族・家庭生活	ページ数	5	0
	B 衣食住の生活	大題材数	1	0
		小題材数	1	0
	A 家族・家庭生活 C 消費生活・環境	ページ数	0	4
		大題材数	0	1
		小題材数	0	3
B 衣食住の生活 C 消費生活・環境	ページ数	9	46	
	大題材数	2	8	
	小題材数	3	24	
その他	ページ数	0	12	
合計	ページ数	145	137	
	大題材数	27	22	
	小題材数	45	59	
前回の総ページ数			130	114
増減			12%	20%
②	実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数(※2)		29	24
③	環境、消費、防災、日本の伝統などの資料の箇所数	環境	14	14
		消費	2	4
		防災	4	5
		日本の伝統	15	14
④	発展的な学習内容を取り上げている箇所数(※3)		3	2
⑤	北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数		2	7
⑥	URL・QRコードを掲載している箇所数(※4)		17	98

(※1) 3つの内容の大題材・小題材の数及びページ数は、教科書編修趣意書による。「その他」については、「A 家族・家庭生活」、「B 衣食住の生活」、「C 消費生活・環境」の内容に含まれないものを対象とする。

(※2) 調査項目②の「実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数」については、東書、開隆堂、共に「安全」マークを対象とする。

(※3) 調査項目④の「発展的な学習内容を取り上げている箇所数」については、東書、開隆堂、共に「発展」マークを対象とする。

(※4) 調査項目⑥の「URL・QRコードを掲載している箇所数」については、東書はURL、QRコード、「Dマーク」、開隆堂はURL、QRコード、「QRマーク」を対象とする。

別記

様式4の調査項目③[環境]の具体的な内容

学年	領域	東書	ページ	開隆堂	ページ
5	衣食住の生活	○食器洗い、ごみの分別	15		
		○ゆでる際の火加減	20		
		○食器洗い	21		
		○型紙の活用（マイ・ミニバッグ）	28		
		○洗米時の節水	42		
		○必要でない物の整理	52		
		○洗剤の使用	55		
		○型紙の活用（エプロン）	68		
	家族・家庭生活	○湯をわかす	10		
	衣食住の生活				
	家族・家庭生活			○弁当包み	37
	消費生活・環境			○空き箱や空き容器を使った整理・整とん	37
	衣食住の生活	○「もったいない」	57	○湯をわかす（火加減）	13
	消費生活・環境			○湯をわかす（やかんの扱い方）	13
				○野菜の切り方	14
				○後かたづけの仕方	17
				○生ごみのしまつの工夫	17
				○物を生かして使う工夫	32
				○衣服の着方（保温）	71
6	衣食住の生活	○油污れの処理	83	○使ったフライパンの後しまつ	87
		○洗剤使用量の目安	92		
	衣食住の生活	○調理するときの工夫	110	○植物を利用して熱をさえぎる	96
	消費生活・環境	○買い物の工夫	111	○エコ生活	97
				○そうじ名人	103
				○衣服の手入れ	103

様式4の調査項目③[消費]の具体的な内容

学年	領域	東書	ページ	開隆堂	ページ
5	消費生活・環境	○消費生活センターとは	35	○買う前に考えよう	60
		○この表示、どんな意味？	39	○買い物の仕組み	61
	衣食住の生活			○持ち物の整理	30
	消費生活・環境			○物を生かして使う工夫	32

様式4の調査項目③[防災]の具体的な内容

学年	領域	東書	ページ	開隆堂	ページ
5	家族・家庭生活			○災害時の対応	6
	衣食住の生活	○針と糸	30	○災害時のたき出し	51
		○なべでたくご飯	43		
		○非常用持ち出しぶくろ	52		
家族・家庭生活			○空き箱や空き容器を使った整理・整とん	37	
消費生活・環境					
	衣食住の生活			○針と糸とはさみの準備	21
	消費生活・環境				
6	家族・家庭生活	○家族で防災会議	126		
	衣食住の生活			○手ぬぐいの活用	119

様式4の調査項目③[日本の伝統]の具体的な内容

学年	領域	東書	ページ	開隆堂	ページ
5	家族・家庭生活			○いろいろなお茶	74
				○地域のおやつ	75
	衣食住の生活	○ご飯	42	○ご飯とみそしる	49
		○みそ汁	44	○和食の基本	53
		○日本の伝統的な食品	48	○みそしるの实の組み合わせの例	56
○だしの取り方		49			
	○日本てぬぐい	63	○各地に伝わるみそやみそ料理	57	
家族・家庭生活 衣食住の生活	○いろいろなお茶と湯の温度	12			
	○道具や器	12			
衣食住の生活 消費生活・環境	○「もったいない」	57	○わかした湯を使ったお茶のいれ方	13	
			○ゆでる調理で和食にチャレンジ	19	
6	衣食住の生活	○夏の伝統的な暮らし方の工夫	87	○一汁三菜	113
		○どんな音があるだろう	89	○手ぬぐいの使い方	119
		○衣替え	91	○日本の伝統食	119
		○住まいの「衣替え」	94	○おせち料理	119
		○冬の伝統的な暮らし方の工夫	117		
		○明るさを調整する方法	120		
	衣食住の生活 消費生活・環境	○もてなしの心	114	○ゆかた	99
その他			○わたしたちの生活の中にある伝統文化	130 131	

様式4の調査項目⑤[北海道とかかわりのある内容]の具体的な内容

学年	領域	東書	ページ	開隆堂	ページ
5	家族・家庭生活			○いももち（北海道）	75
	衣食住の生活			○こんぶ（北海道）	53
				○じゃがいも、海そう（北海道）	56
				○ちゃんちゃん焼き（北海道）	57
衣食住の生活 消費生活・環境			○窓や出入り口を二重にする工夫（北海道）	69	
			○年間の気温の変化（札幌）	69	
6	衣食住の生活	○月別気温と湿度（札幌）	140		
		○石狩なべ（北海道）	141		
	衣食住の生活 消費生活・環境			○最低気温が25度以上の日（札幌）	95